

第1章「重点戦略」

いつまでも住み続けたいと思うまちづくり

東日本大震災からの復興を確実に成し遂げるとともに、人口減少や少子高齢化という厳しい状況に立ち向かい、いつまでも住み続けたいと思うまちづくりを進めるための政策の戦略的な展開を図るために、以下の7つのプロジェクトからなる重点戦略を実施します。

- (1) くじの魅力発信プロジェクト
- (2) 日本一の地域づくりプロジェクト
- (3) 安心・安全のまちプロジェクト
- (4) みんなに愛されるマイバス・マイレールプロジェクト
- (5) 安心できる医療福祉のまちプロジェクト
- (6) 出(で)愛(あ)いと地元愛の育みプロジェクト
- (7) 魅力ある仕事起しプロジェクト

【指標の状況】

指標名	目標の方向	基準値(H26)	目標値(H28)	実績値(H28)	達成率
第1節 久慈の魅力発信プロジェクト					
久慈市の観光客数(人)	↑	888,310	910,000	710,869	78.1%
観光ガイド登録者数(人)	↑	0	10	0	0%
教育旅行・キャンプなど受入人数(人)	↑	8,812	9,600	5,598	58.3%
第2節 日本一の地域づくりプロジェクト					
地区単位の地域づくりワークショップ等の開催回数(回)	↑	0	8	8	100.0%
出前講座などの開催回数(回)	↑	0	3	4	133.3%
地域コミュニティ振興事業等件数(件)	↑	33	35	33	94.3%
第3節 安心・安全のまちプロジェクト					
防災行政無線の難聴世帯の解消(世帯)	↓	89	71	89	79.8%
自主防災組織率(%)	↑	40.3	50.8	43.9	86.4%
津波避難訓練の参加者数(人)	↑	1,025	1,250	1,031	82.5%
第4節 みんなに愛されるマイバス・マイレールプロジェクト					
市民バス利用者数(人)	↑	63,516	66,700	60,477	90.7%
利用促進イベント参加者数(人)	↑	61	70	410	585.7%
第5節 安心できる医療福祉のまちプロジェクト					
がん健診受診率：胃がん(%)	↑	19.7	25.0	18.7	74.8%
がん健診受診率：肺がん(%)	↑	34.5	37.0	32.8	88.6%
がん健診受診率：大腸がん(%)	↑	30.3	34.0	31.9	93.8%
ふれあいサロン延べ参加者数(人)	↑	12,978	14,200	13,750	96.8%
久慈医療圏人口10万人当たりの医師数(人) ※1	↑	134.4	135.9	133.4	98.2%

指標名	目標の方向	基準値(H26)	目標値(H28)	実績値(H28)	達成率
第6節 出(で)愛(あ)いと地元愛の育みプロジェクト					
成婚数(組) ※2	→	154	141	150	106.4%
子育て支援に関する満足度平均値(ポイント) ※3 市民満足度アンケート	↑	2.8	3.1	2.7	87.1%
教育旅行・キャンプ等受入人数(人)	↑	8,812	9,600	5,598	58.3%
第7節 魅力ある仕事起しプロジェクト					
久慈管内新規高卒者の管内就職率(%)	↑	34.0	35.0	43.9	125.4%
起業件数(件)	↑	0	1	2	200.0%
販路拡大支援事業利用件数(件)	→	2	2	1	50.0%

※1 「医師、歯科医師、薬剤師調査」厚生労働省統計情報部(隔年調査)。久慈医療圏人口10万人当たりの医師数のH26の基準値はH24の数値を使用し、H28の実績値はH26の数値を使用。

※2 「成婚数」のH26の欄の数値はH25の数値を使用。

※3 「子育て支援に関する満足度平均値」のH26の欄の数値はH27の数値を使用。

【総合評価】

平成28年度は、観光客数は71万人と前年と比較し大きく落ち込みました。主な要因としては、台風10号の影響により毎年9月に実施する本市最大のイベントである久慈秋まつりの中止をはじめ、市内宿泊施設も被災したことから9月以降の観光客が大幅に落ち込んだものととらえています。また、教育旅行等受入人数も同様の減少理由であることから、学校訪問を強化するとともに、修学旅行誘致説明会や商談会に積極的に参加し、誘致活動に努めてまいります。

なお、新たな取り組みとして、教育旅行の受入ノウハウを生かし、旅をきっかけに健康への気づきを与えるヘルスツーリズムの事業化に向け取り組んでいるところであり、通年受入による受入人数拡大を目指してまいります。

住民主体の地域づくりに取り組むため「ふるさと未来づくり事業」を実施し、地区単位の地域づくりワークショップ等を合計8回、出前講座を合計4回開催しました。今後も住民主体の地域づくりに関する意識醸成を図ってまいります。

安心・安全のまちを目指し、戸別受信機の設置など防災情報発信の強化、自主防災組織の組織率向上を図り、地域の防災意識向上、地域の見守りや支え合いの体制づくり等の支援にも努めてまいります。

市民バス利用者は60,477人で平成27年度に比べて約1割減となりましたが、引き続き、公共交通機関の利用促進へ向けた事業を開催し、利用者増へ向けた取り組みとともに、ニーズ調査などを行い、利用者の利便性に配慮した運行を検証し、併せて、運転免許証自主返納制度に対応した取り組みについても検討してまいります。

安心できる医療福祉の取り組みとして実施しているがん検診については、台風災害の影響により、実績値が目標値を下回りましたが、前年度より実績値が上がっている項目もあり、今後も、周知啓発に取り組み、受診率向上を図ってまいります。また、平成28年度は、市町村医師養成事業で養成した医師1名が配置調整により、県立久慈病院に配置となりました。10万人当たりの医師数(久慈地域133.4人)は、依然として県平均(204.2人)を下回っており、不足している診療科の医師充足について、継続して関係機関に対し要望をしてまいります。

出愛いと地元愛を育むための取り組みとして、地域の魅力体験・体感型教育の推進、職業意識の醸成に向けたキャリア教育の推進、結婚に向けた総合的な支援を実施しております。婚活支援は、成果に向けてある程度期間が必要であります。平成28年度の成婚数は150組であり、目標を9組上回り、達成率は106.4%となりました。

魅力ある仕事起しへの取り組みは、平成27年度からキャリア教育支援員を配置し、関係機関と連携したキャリア教育の支援を行っています。昨年度は、新規高卒者の管内就職率が目標値を大きく上回る43.9%となりました。高卒後多くの若者が市外に流出する当地域にとっては、実を結んだものと考えられ、継続実施による企業・地域と学校間の連携や、企業・地域の魅力PR、市外流出後のKターンやふるさと大使の増加につなげていきたいと考えており、今後も、関係機関と連携した事業を実施し、人口減少対策に取り組んでまいります。

第1章 「重点戦略」

いつまでも住み続けたいと思う街づくり

第1節 くじの魅力発信プロジェクト

【平成28年度の取組】

①おもてなしと魅力発信の体制強化

近年の旅行傾向は、有名観光地を巡るだけではなく、テーマを明確にし、それに沿った「体験」を組み込んだ旅行の人气が高まっていることから、当市の観光資源である「あまちゃん」や教育旅行、潮風トレイル、ジオサイトなどを活かし、他地域との差別化を図るため、これまで使用していた観光パンフレットのデザインを刷新し、民間情報誌の要素を含ませ、より一層、観光客に親しみやすく、そして携帯性など使用し易い内容とし25,000部作成しました。

また、当市の観光資源の一つである「あまちゃん」の知名度を活用し、「あまちゃんハウス」を久慈駅前に移転するとともに、あまちゃんサミットを開催するなど「あまちゃんのまち・くじ」として情報発信に努めました。

ロケ地を観光資源として活用するとともに、国内外へ効果的なPRを行うため、関係機関と協力し、平成28年度はNHK紅白歌合戦をはじめ、CS放送、海外番組等、39件のロケが当市で行われました。

②体験インストラクター・観光ガイドの人材育成などの推進

・体験型教育旅行受入事業

教育旅行やキャンプ等受入状況について、学校、団体数は、ほぼ例年並みとなっておりますが、平成27年度から2,281人の減となっているところです。

誘致活動としては、岩手県観光協会が主催する修学旅行誘致説明会に2度出席（東京、大阪）したほか、台湾や中国をターゲットとした商談会に出席するなど、積極的な誘致・宣伝活動に努めたところです。

・農林漁家民泊整備事業

民泊受入の充実を図るため、受入家庭の家屋等改修に対し4件の補助を実施したところです。

・ボランティアガイド連携支援事業

観光ガイドの受入態勢の確立、観光ガイド育成用「久慈市観光ガイドマニュアル」を作成いたしました。

【施策の評価】

①おもてなしと魅力発信の体制強化

平成28年度の観光客数は710,869人（推計値）と前年と比較し大きく落ち込みました。主な要因としては、台風10号の影響により9月に実施予定の当市最大のイベントである久慈秋まつりの中止をはじめ、市内宿泊施設も被災したことから9月以降の観光客が大幅に落ち込んだことととらえております。

ロケ受入によるテレビ放映は、費用対効果が非常に高いことから、引き続き積極的に取り組んでまいります。

②体験インストラクター・観光ガイドの人材育成などの推進

教育旅行等受入人数の減少理由については、例年より県外の大規模校の受入が少なかったことや台風10号の影響により受け入れをキャンセルせざるをえなかったこと等が主な要因と考えておりますので、引き続き、ふるさと体験学習協会と連携して、エージェントや学校訪問を強化するとともに、修学旅行誘致

説明会や商談会に積極的に参加し、誘致活動に努めてまいります。

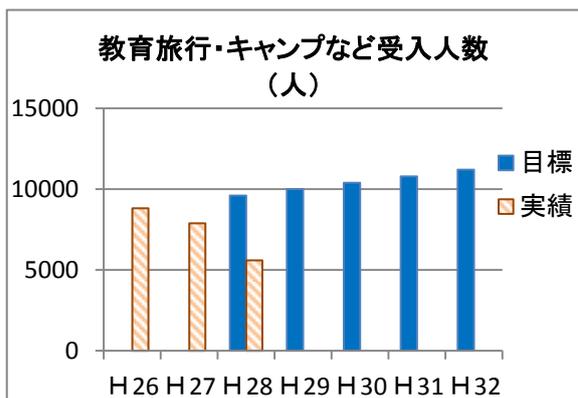
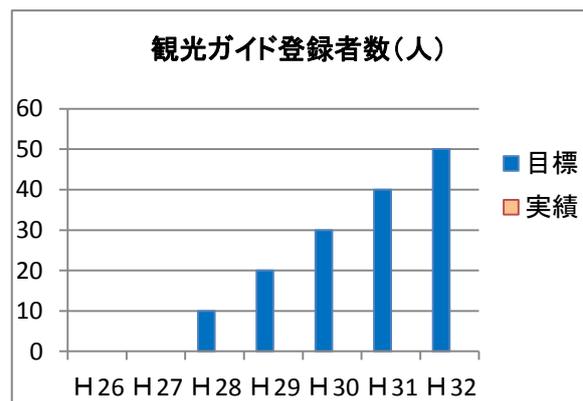
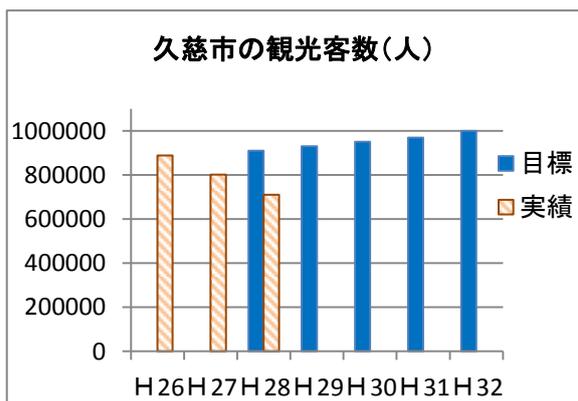
また、民泊家庭や受入地区の拡大、体験インストラクターの確保・人材育成に努め、受入態勢を充実させることが受入拡大につながるものと考えておりますので、引き続き取り組んでまいります。

なお、新たな取り組みとして、教育旅行の受入ノウハウを生かし、旅をきっかけに健康への気づきを与えるヘルスツーリズムの事業化に向け取り組んでいくところであり、通年受入による交流人口拡大を目指していきます。

観光ガイドについては、平成28年度は市内におけるガイドの有り方を関係機関と協議し、進めてきたところですが、民間組織が主体となる「久慈市ガイドの会」が設立されました。今後は、「久慈市ガイドの会」が進めるガイド養成について、必要に応じた取り組みを行ってまいります。

【指標の状況（詳細）】

指標（単位）	基準値	区分	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	(H26)							
久慈市の観光客数（人）	888,310	目標		910,000	930,000	950,000	970,000	1,000,000
		実績	802,109	710,869	—	—	—	—
		達成率		78.1%	—	—	—	—
観光ガイド登録者数（人）	0	目標		10	20	30	40	50
		実績	0	0	—	—	—	—
		達成率		0.0%	—	—	—	—
教育旅行・キャンプなど受入人数（人）	8,812	目標		9,600	10,000	10,400	10,800	11,200
		実績	7,879	5,598	—	—	—	—
		達成率		58.3%	—	—	—	—



第1章 「重点戦略」

いつまでも住み続けたいと思う街づくり

第2節 日本一の地域づくりプロジェクト

【平成28年度の取組】

①コミュニティカルテづくりの推進

地域住民がコミュニティ活動に取り組む際の一つの指標となるように、地域のお宝や資源、課題を話し合う場を創出し、結果をまとめ(コミュニティカルテ)、地域住民に還元しながら、ふるさと未来づくり事業を実施しました。また、地区単位でのワークショップや講座を通じて、住民主体の地域づくりに関する意識の醸成を図りました。本事業の推進のため、集落支援員2名を配置しております。ふるさと未来づくり事業の実施状況は次のとおりです。

- ・地区単位の地域づくりワークショップ(名称：夢語り、メニューの絞り込み、サロン、全体会)…合計8回(山形2回、山根4回、小久慈2回)
- ・出前講座(名称：ミニ講演会、勉強会)…合計4回(山根1回、大川目1回、小久慈1回、夏井1回)
- ・ふるさと点検(町内会や班単位)…合計10回(小久慈5回、夏井5回)
- ・チーム活動(絞り込んだメニューの実践)…合計16回(山根16回)

②コミュニティコーディネーターの育成

コミュニティコーディネーター(地域課題の解決につながる活動の提案と実現に向けた調整を行う地域人材)の育成を図るために、ふるさと未来づくり事業を実施しました。また、将来のコミュニティ活動の担い手となる若い世代の参加を促進するため、ふるさと未来づくり事業の実施にあたっては、若い世代や児童・生徒への声掛けを行いました。

③コミュニティサポート体制の強化

多様なコミュニティ団体の活動しやすい環境づくりとして、町内会や地域づくり団体等が行う地域の活性化や協働のまちづくりを推進するための活動に対して補助金を交付する「地域コミュニティ振興事業」を実施し、組織の活動のサポートを行いました。

【施策の評価】

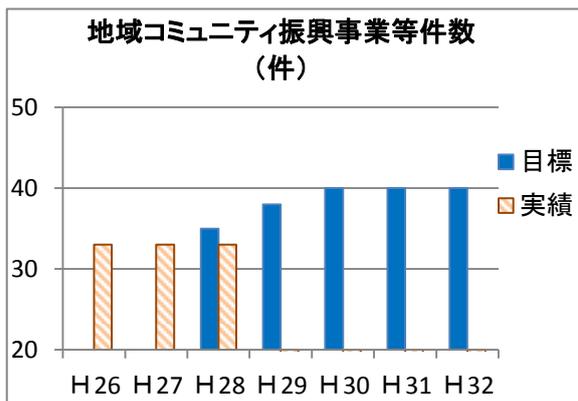
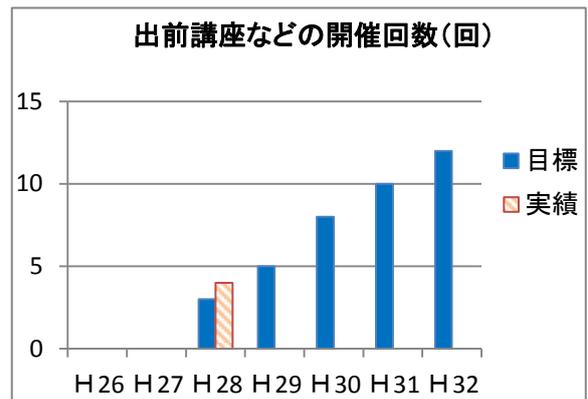
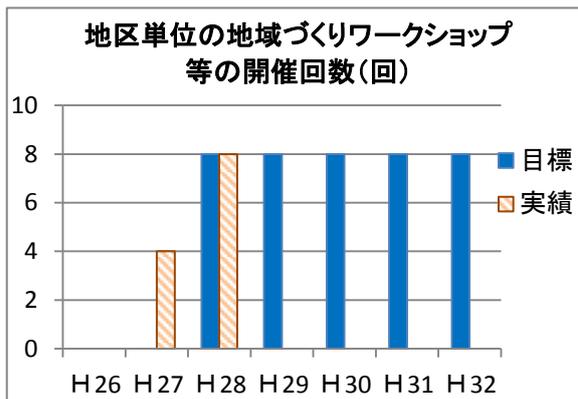
①コミュニティカルテづくりの推進、コミュニティコーディネーターの育成
「ふるさと未来づくり事業」の実施に伴い、地区単位の地域づくりワークショップ等を合計8回、出前講座を合計4回開催しました。また、指標にはなっていませんが、この他にふるさと点検を合計10回、チーム活動を合計16回実施しました。今後も住民主体の地域づくりに関する意識の醸成を図ってまいります。

②コミュニティサポート体制の強化

地域コミュニティ振興事業の実施状況は、平成27年度と同伴数となっており、目標値を下回っています。これは、各コミュニティ団体への周知方法が主な原因と捉えております。今後は各コミュニティ団体へ、利用しやすい補助制度であるということ認識していただくために周知方法の改善に努めます。

【指標の状況（詳細）】

指標（単位）	基準値 (H26)	区分	H27	H28	H29	H30	H31	H32
地区単位の地域づくり ワークショップ等の開催 回数（回）	0	目標	8	8	8	8	8	8
		実績	4	8	—	—	—	—
		達成率	100.0%	—	—	—	—	—
出前講座などの開催回数 （回）	0	目標	3	5	8	10	12	
		実績	0	4	—	—	—	
		達成率	133.3%	—	—	—	—	
地域コミュニティ振興事 業等件数（件）	33	目標	35	38	40	40	40	
		実績	33	33	—	—	—	
		達成率	94.3%	—	—	—	—	



第1章 「重点戦略」
いつまでも住み続けたいと思う街づくり
第3節 安心・安全のまちプロジェクト

【平成28年度の実施】

①防災・防犯情報の共有体制の強化

・防災行政無線の難聴解消対策

山根町中戸鎖地区の難聴世帯解消に向け、戸別受信機の設置（繰越事業）に取り組んでいるほか、市民からの情報をもとに防災行政無線スピーカーの調整を実施するなど、難聴解消対策に取り組みました。

なお、市内における難聴世帯は89世帯であり、平成29年3月31日現在の全世帯数（15,594世帯）に対する難聴解消率は、99.43%となっております。

・防災及び災害情報の伝達

確実な災害情報伝達のための防災行政無線保守点検業務の実施、防災行政無線電話再応答サービスの運用、気象情報や避難所開設などの情報をテレビ画面から入手できるテレビdボタンの活用、防災情報メールマガジンの配信（登録制）、ホームページ、ツイッター、フェイスブックなどでの情報発信に取り組みました。

②自助・共助による防災力の充実

・津波避難訓練

沿岸地区住民1,031人に加え、消防団及び各関係機関574人の参加協力のもと、6月15日（水）に津波災害を想定した住民の避難訓練や消防団の水門閉鎖訓練等、実践的な訓練を実施しました。

・自主防災組織等の訓練

8月28日（日）から11月6日（日）にかけて、自主防災組織（3組織）及び町内会（2箇所）において実施された、各種訓練に対し協力を行いました。

・消防団訓練

火災や災害時等の出動に備え、久慈広域連合消防本部及び久慈消防署の協力をいただき、消防団員485人、婦人消防協力隊員110人の参加のもと、6月26日（日）久慈中学校グラウンド等で行われた特別点検において、各種訓練等を実施しました。

・その他訓練

国や県との情報伝達訓練などの各種訓練を実施

- ・土砂災害防災訓練2回（国1・県1）
- ・情報伝達確認訓練1回（県）
- ・災害情報伝達訓練1回（県）
- ・情報伝達訓練2回（北緯40° ナニャトヤラ連邦会議）

③自主防災組織の拡大に向けた支援

・自主防災組織の結成率向上のため、地元町内会等に対し説明会を行い、組織結成の促進を図りました。【新規団体：2団体】

・自主防災組織資機材整備費補助金

自主防災組織の活動を推進するため、自主防災組織11組織に対し、防災資機材を購入する経費として補助金を交付しました。

【施策の評価】

①防災・防犯情報の共有体制の強化

市内の防災行政無線の難聴世帯数は、現在89世帯となっており、目標値を下回っていますが、今後も伝搬調査と並行しながら、順次戸別受信機等の設置を予定しており、引き続き難聴地域解消に向け努めてまいります。

②自助・共助による防災力の充実

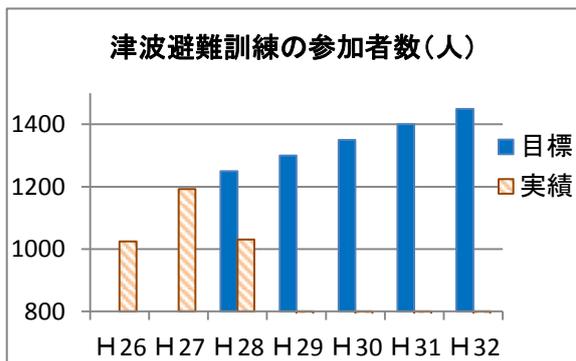
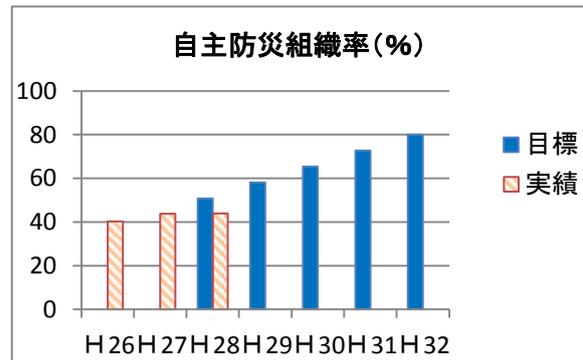
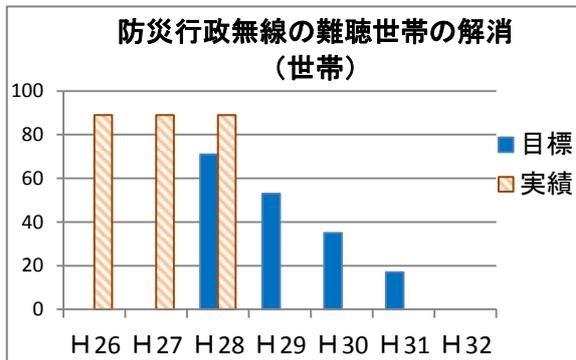
津波避難訓練への住民の参加状況は、前年度の1,193人から192人減の1,031人となっており、目標値を下回っておりますが、消防団等関係機関の参加は年々増加してきているので、今後も引き続き地域住民や関係機関への周知を図り、参加者数の増加を図るとともに、防災意識の向上に努めてまいります。

③自主防災組織の拡大に向けた支援

自主防災組織の組織率については、43.9%となっており、目標を下回っていますが、組織の活動や防災資機材の購入経費への助成を行っているところであり、引き続き自主防災組織の結成・育成に向け取り組んでいきます。

【指標の状況（詳細）】

指標（単位）	基準値 (H26)	区分	H27	H28	H29	H30	H31	H32
防災行政無線の難聴世帯の解消（世帯）	89	目標	89	71	53	35	17	0
		実績	89	89	—	—	—	—
		達成率	—	79.8%	—	—	—	—
自主防災組織率（%）	40.3	目標	43.8	50.8	58.1	65.4	72.7	80
		実績	43.8	43.9	—	—	—	—
		達成率	—	86.4%	—	—	—	—
津波避難訓練の参加者数（人）	1,025	目標	1,193	1,250	1,300	1,350	1,400	1,450
		実績	1,193	1,031	—	—	—	—
		達成率	—	82.5%	—	—	—	—



第1章 「重点戦略」

いつまでも住み続けたいと思う街づくり

第4節 みんなに愛されるマイバス・マイレールプロジェクト

【平成28年度の取組】

①交通網の効果的・効率的な構造転換の推進

・路線バス運行事業 等

市民バス8路線（デマンドタクシーを含む）と、山形地区高校生の通学を支援するための通学支援バスを運行。通学支援バスについては、平成31年度からの見直しに向けて意見交換会とアンケート調査を行いました。

市民バスの運行期間が更新となる平成31年度に向けて、乗降調査、アンケート調査などを行い、今後も運行内容の見直しを進めます。

・三陸鉄道運営費補助事業 等

地域の生活の足である三陸鉄道が、安全かつ安定して運行できるよう、施設改修費などに対し、16,856千円を補助しました。今後も国・県・市町村で協力し、三陸鉄道の運営支援に取り組みます。

②愛着あふれる公共交通の推進

・路線バス運行事業 等

厳しい利用状況を踏まえ、平成27年度比で2.5倍となる18回（路線バス・三陸鉄道・JR八戸線の合計）の利用促進事業を実施しました。

公共交通機関の存続に向けて、運行内容の見直しや運行支援とともに、今後も利用促進に取り組みます。

【施策の評価】

①交通網の効果的・効率的な構造転換の推進

市民バス利用者は60,477人で平成27年度に比べて約1割減となり、目標を大きく下回っています。主なバス利用者である65歳以上人口は微増となっていますが、台風10号被害の影響に加え、高齢者の運転免許人口の増加など、社会全体の状況が利用減につながっていると捉えています。

市民バスは高齢者の通院や買い物に主眼をおいて運行しておりますが、あらためてニーズ調査などを行い、利用者の利便性に配慮した運行に取り組むとともに、運転免許証自主返納制度に対応した取り組みについても検討を進めます。

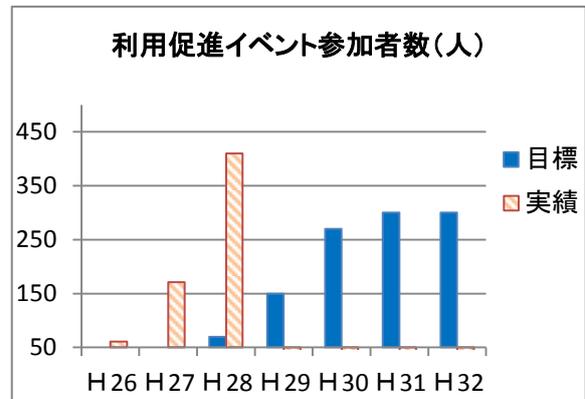
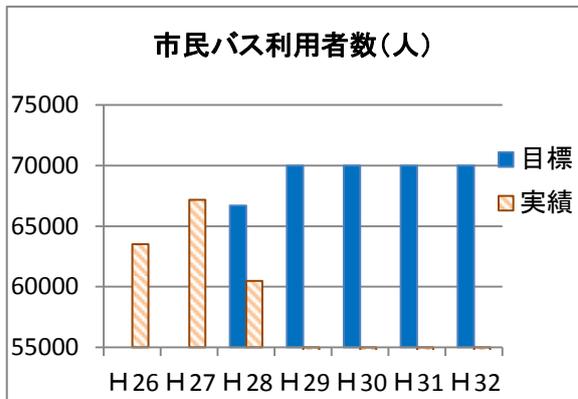
②愛着あふれる公共交通の推進

厳しい利用状況を踏まえ、平成27年度比で2.5倍となる18回（路線バス・三陸鉄道・JR八戸線の合計）の利用促進事業を実施しました。参加者実績は410人と、目標を大幅に上回っています。

公共交通機関を存続していくためにも、利用者の増加が不可欠であることから、今後も利用促進に取り組みます。

【指標の状況（詳細）】

指標（単位）	基準値 (H26)	区分	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市民バス利用者数（人）	63,516	目標		66,700	70,000	70,000	70,000	70,000
		実績	67,183	60,477	—	—	—	—
		達成率		90.7%	—	—	—	—
利用促進イベント参加者数（人）	61	目標		70	150	270	300	300
		実績	171	410	—	—	—	—
		達成率		585.7%	—	—	—	—



第1章 「重点戦略」

いつまでも住み続けたいと思う街づくり

第5節 安心できる医療福祉のまちプロジェクト

【平成28年度の取組】

①心と体の健康維持に向けた支援

・健康増進事業

生活習慣病やがんなど疾病の予防及び早期発見を図るため、各種検診事業を実施しました。また、各種がん検診の普及啓発を行い、健康に対する意識の高揚と精密検査の受診勧奨に努めました。

②高齢者を見守り・支え合う環境の構築

・ふれあいサロン事業

高齢者等が住みなれた地域で生きがいを持つことで社会参加を促進し、自主的な福祉活動の助長と共に支え合う福祉コミュニティづくりを推進するため、新規実施箇所 4箇所、継続実施箇所 85箇所、市内各地の併せて89箇所において生きがいづくり活動（延1,177回）を実施しました。

・災害時要援護者支援事業

高齢者や障害者等の避難等に支援が必要な方が災害時に地域の支援によって迅速な避難ができるよう台帳登録を進め、要支援者として594人が台帳登録されました。市と57町内会等及び地域見守り協力事業所（31事業所）と協定を締結し、支え合い、見守り体制を推進し、福祉コミュニティの充実等に取り組みました。

・緊急通報体制支援事業

在宅高齢者等の急病などに迅速な対応ができる見守り体制を整えています。緊急通報装置の貸与数は284台（うち新規設置23台）となっており、一人暮らし高齢者等の見守り・支援体制を進めています。

③地域のニーズに対応した医療環境の整備

・医師確保対策

県や関係機関に対し、県立久慈病院において不足している医師の充足・確保についての要望を行うとともに、久慈市出身の医学生等に対しては、地元での就労について働きかけるなど、医師確保に取り組んでいます。

また、中学生を対象として、県立久慈病院医師による出前講座等を実施する地域医療人材育成事業（久慈保健所主催）に参画し、長期的な視野で久慈地域の医療を担う人材育成にも取り組んでいます。

・市町村医師養成事業

将来、岩手県内の県立病院等の医師として業務に従事しようとする者に対し、県と市町村が共同で修学資金を貸付する事業に負担金を拠出しました。

・お産・子育て支援事業

当地域においては特に周産期医療及び小児科医療体制の確保・充実が求められているところであり、安心して子どもを産み育てることができるよう、県や医療機関と連携して妊産婦支援の充実に努めています。

【施策の評価】

①心と体の健康維持に向けた支援

がん検診の受診率は、胃がん18.7%、肺がん32.8%、大腸がん31.9%となっております。大腸がん検診の受診率については前年度を上回っておりますが、全ての検診において目標を下回っております。これは、昨年発生した台風10号の影響により、受診者が減少したことが主な原因と捉えております。

今後も、周知啓発の取り組みを実施し、受診率向上を図っていきます。

②高齢者を見守り・支え合う環境の構築

小地域での交流の場として「ふれあいサロン」を実施箇所89箇所、活動回数1,177回、延べ13,750人の方々に実施しました。ひきこもり高齢者に交流する機会を提供しているほか、趣味などの生きがいがづくりの場として大変好評です。実施団体は減少しましたが、活動回数、参加者数は増加傾向にあります。今後も内容の充実などを図るとともに、地域のリーダー育成などを通して長期的な運営が可能になるよう今後も推進してまいります。

福祉コミュニティ組織化、災害時要援護者台帳等は、昨年の台風10号の被災により取り組みが進まない状況でありましたが、地域見守り協力事業所数は、6事業所から31事業所と増加、及び要援護者台帳への登録率も増加傾向にあります。

今後においても、町内会等自治組織及び事業所との連携・協力が必要不可欠なため、引き続き福祉コミュニティの組織化、災害時要援護者名簿への登録及び名簿共有締結に向け、取り組みを促進し、地域の見守りや支え合いの体制づくり等の支援を行ってまいります。

また、高齢者のみの世帯数は年々増加しており、高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるよう、地域の見守り活動の一環として「緊急通報体制支援事業」を推進しています。地域包括支援センターなどの関係機関等の協力を得ながら多角的な見守り事業を実施してまいります。

③地域のニーズに対応した医療環境の整備

岩手県立久慈病院において不足している診療科の医師の充足について、県や関係機関に対し要望を継続しています。

依然として10万人当たりの医師数は、県平均を大幅に下回っているところであり、全国的な医師不足も背景にあることから、直ちに久慈病院の医師を増員し、診療体制を強化することは困難な状況ですが、平成28年度は、市町村医師養成事業で養成した医師1名が配置調整により、県立久慈病院に配置となりました。

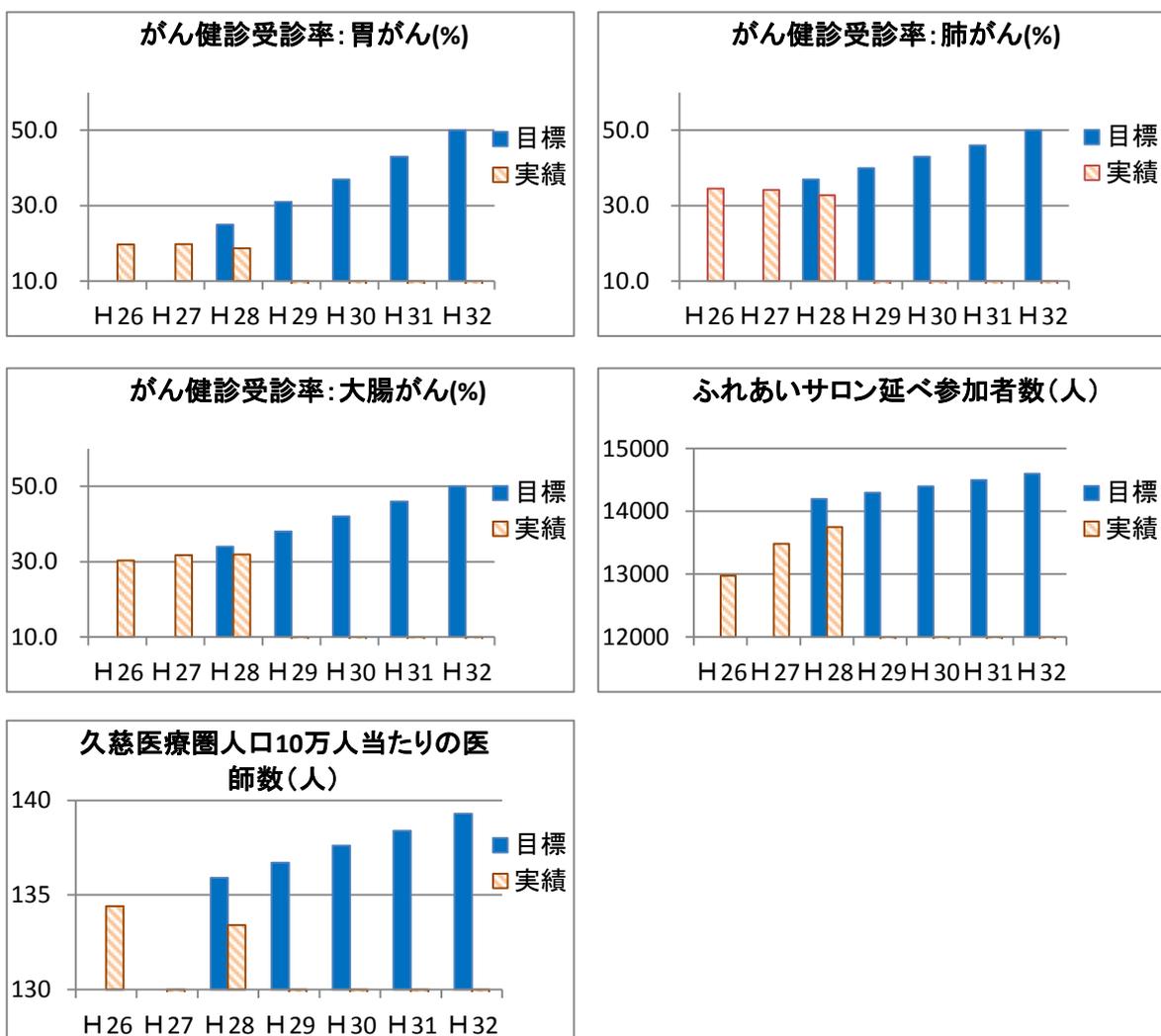
周産期の医療支援として、平成28年度より出産祝金の支給227件、ハイリスクのため市外の医療機関で妊婦健診を受ける方への交通費の助成59件、ハイリスク出産者の家族への宿泊の助成7件を開始しました。また、不妊に悩む方の支援として特定不妊治療費の助成10組、14件も継続して行っています。

【指標の状況（詳細）】

指標（単位）	基準値	区分	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	(H26)							
がん健診受診率：胃がん (%)	19.7	目標	25.0	25.0	31.0	37.0	43.0	50.0
		実績	19.8	18.7	—	—	—	—
		達成率	74.8%	—	—	—	—	—
がん健診受診率：肺がん (%)	34.5	目標	37.0	37.0	40.0	43.0	46.0	50.0
		実績	34.2	32.8	—	—	—	—
		達成率	88.6%	—	—	—	—	—
がん健診受診率：大腸がん (%)	30.3	目標	34.0	34.0	38.0	42.0	46.0	50.0
		実績	31.7	31.9	—	—	—	—
		達成率	93.8%	—	—	—	—	—
ふれあいサロン延べ参加者数（人）	12,978	目標	14,200	14,200	14,300	14,400	14,500	14,600
		実績	13,483	13,750	—	—	—	—
		達成率	96.8%	—	—	—	—	—
久慈医療圏人口10万人当たりの医師数（人） ※	134.4	目標	135.9	135.9	136.7	137.6	138.4	139.3
		実績	133.4	133.4	—	—	—	—
		達成率	98.2%	—	—	—	—	—

※久慈医療圏人口10万人当たりの医師数のH26の基準値はH24の数値を使用し、H28の実績値はH26の数値を使用。

基礎資料：「医師、歯科医師、薬剤師調査」厚生労働省統計情報部（隔年調査）



第1章 「重点戦略」

いつまでも住み続けたいと思う街づくり

第6節 出(で)愛(あ)いと地元愛の育みプロジェクト

【平成28年度の取組】

①結婚に向けた総合的支援の実施

・結婚支援イベント補助事業

少子化対策の一環として、結婚支援イベントを実施する団体に対して補助金を交付しました。また、4/5の補助率を10/10に引き上げました。

2団体へ補助金340,000円交付

内訳：イベント開催1団体、参加者29人、カップル成立率20.7%

セミナー開催1団体、参加者15人

・縁結び支援事業

未婚化、晩婚化への対策と定住化の促進を図るため、結婚希望者の相談支援のためにボランティアで活動する縁結び支援員を募集しました。

新規縁結び支援員登録者：1人（登録者数12人）

支援申込者（H29.3.31現在）：男性11人、女性1人

②親子が過ごしやすい生活空間・環境の充実

・子育てにやさしい環境づくり事業

親子がともに過ごしやすく女性にやさしい生活空間・環境の創造を図るため、子育て支援センターの保育室を開放するとともに、相談教室や各種の交流事業を開催しました。

また、夫婦がともに安心して働くことができる環境整備のため、民間保育所等の新設等に対して支援をするとともに、施設利用児童の保護者の負担軽減を図るため、国基準に比べて約4割、金額にして148,451千円（H27：135,805千円）の軽減を行いました。

③地域の魅力体験・体感型教育の推進

・体験型教育旅行受入事業

市内学校における体験活動については、台風10号被害の影響により受け入れをキャンセルせざるを得なかったことから、7校の予約に対して4校の受入となりました。

【施策の評価】

①結婚に向けた総合的支援の実施

結婚支援は成果がすぐに現れるものではなく、ある程度の期間が必要ですが、平成28年度の成婚数は150組であり、目標を9組上回り、達成率は106.4%でした。

結婚支援イベント補助事業では、実施団体の財源負担が少なくなるように補助率を10/10に引き上げました。平成28年度の申込み団体は延べ4団体（採択2団体）であり、平成27年度2団体から増加しました。

縁結び支援事業では、縁結び支援員のスキルを向上するための研修会を3回開催しましたが、縁結び支援員の出席率が半数に満たないことから出席しやすい曜日や時間の設定に努めます。

また、今後の活動について縁結び支援員の意見を取り入れ、活動しやすい環境を整えてまいります。

②親子が過ごしやすい生活空間・環境の充実

市民満足度アンケートにおける子育て支援に関する満足度平均値は、前年比マイナス0.1ポイント、目標を0.4ポイント下回っていますが、子育て支援センターの利用者数は11,095人（H27：8,958人、23.9%増）となっており、当市の就学前の児童数が平成27年度末の1,627人から1,577人と減少したにもかかわらず、最近減少傾向を見せていた利用者数は平成28年度に増加に転じました。

今後とも、子育て支援情報パンフレットの配架のほか、各種の媒体を通じた情報の発信に努めるとともに、保育園、子育て支援センター等の施設の充実のほか、各種の子育て支援事業の充実を図り、市民満足度の向上に努めてまいります。

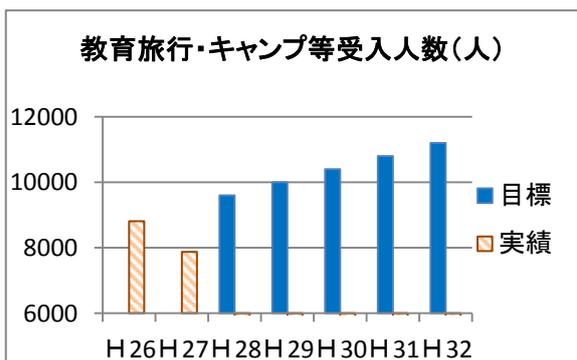
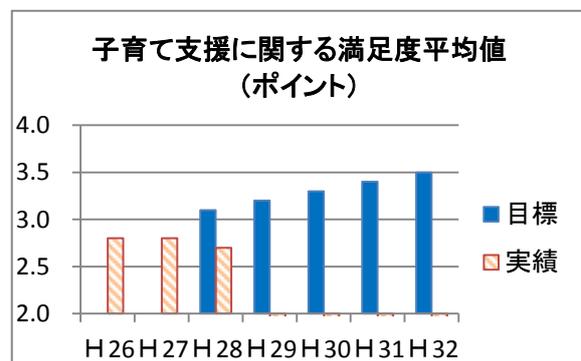
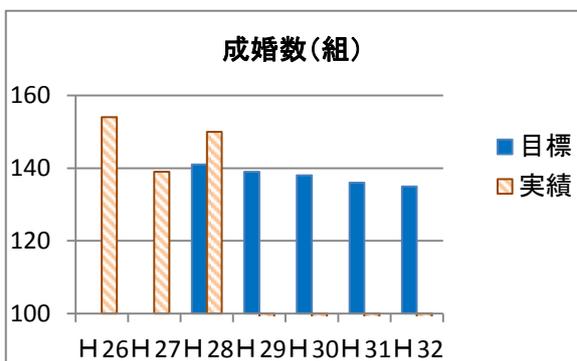
③地域の魅力体験・体感型教育の推進

市内の児童・生徒が久慈市の自然体験などの実体験を通じ、生まれ育った場所の魅力や素晴らしさに気づくことが、将来の地元愛につながるものととらえていることから、今後とも市内小中学校等の受入拡大に努めていきます。

【指標の状況（詳細）】

指標（単位）	基準値	区分	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	(H26)							
成婚数（組）	154	目標		141	139	138	136	135
		実績	139	150	—	—	—	—
		達成率		106.4%	—	—	—	—
子育て支援に関する満足度平均値（ポイント） ※市民満足度アンケート	2.8	目標		3.1	3.2	3.3	3.4	3.5
		実績	2.8	2.7	—	—	—	—
		達成率		87.1%	—	—	—	—
教育旅行・キャンプ等受入人数（人）	8,812	目標		9,600	10,000	10,400	10,800	11,200
		実績	7,879	5,598	—	—	—	—
		達成率		58.3%	—	—	—	—

※「成婚数」のH26の欄の数値はH25の数値を、「子育て支援に関する満足度平均値」のH26の欄の数値はH27の数値を使用。



第1章 「重点戦略」

いつまでも住み続けたいと思う街づくり

第7節 魅力ある仕事起しプロジェクト

【平成28年度の取組】

①職業意識の醸成に向けたキャリア教育の推進

地域産業に触れる機会となる、主に中学校が行う職場体験、出前授業等の学校教育段階における「キャリア教育事業」の推進を図り、一貫した若者定着対策事業の実施が必要です。

このことから「久慈市キャリア教育推進協議会」を設置し、企業向けの勉強会・セミナーを2回、職場体験事前学習に対する講師のコーディネート2件、保護者対象の企業見学会1回、先進地視察4回を行いました。

②起業者などに対する支援体制の構築

・創業支援事業

平成28年1月に国に認定された「久慈市創業支援事業計画」に基づき、創業希望者に対し、商工会議所、市内金融機関等の支援機関と連携して、創業に係る個別相談などを実施しました。平成28年度に久慈市が実施した創業希望者への個別相談は9件、うち2件が創業しました。

・意欲ある事業者への支援

魅力ある雇用の場の創出には、市内事業者による新事業展開、事業高度化や新たな販路開拓による地域経済の拡大が不可欠です。これらに取り組む事業者を支援するため平成28年度は168回のフォローアップ訪問により、国・県が実施する各種補助金等への申請支援や販路拡大に係るマッチング支援等を行いました。

③地域資源・企業の魅力発信の強化

・地元暮らしの人生シミュレーションパンフレット作成事業

地元定着を希望する中高生や、Kターンを希望する若者に対し、久慈市での就職を検討する機会を与えることができるよう、職場情報や生活環境、大まかな生活スケジュールを掲載したパンフレットを作製し、市内高等学校2、3年生へ配布しました。

・Kターン希望者採用活動支援によるやりがいのある働く場確保事業

Kターン就職希望者の受け皿となる職場を確保するため、有料求人サイトを活用した採用活動を支援し4事業所が活用したほか、市内事業所の人材確保、定着に向け採用力強化研修、新採用研修を行いました。

【施策の評価】

①職業意識の醸成に向けたキャリア教育の推進

高卒就職者の県外就職率が高く、進学先もないため高卒後8割を超える若者が市外に流出する当地域にとって、進学・就職による県外流出を防ぐことが最重要課題になっています。

昨年度は、新規高卒者の管内就職率が目標値を大きく上回る43.9%となりました。これは、県北広域振興局で組織する久慈地域キャリア教育推進研究会、久慈公共職業安定所及び高校等の関係機関との連携のもと実施した地元企業見学会等の事業の成果、あるいは企業の早期求人票の提出といった取り組みが実を結んだものと考えられます。

キャリア教育の継続実施により企業・地域と学校間の連携がさらに深まるとともに、企業・地域の魅力のPRにつながり、地元就職のみならず、市外流出後のKターンやふるさと大使の増加が期待されます。

②起業者などに対する支援体制の構築

・創業支援事業

昨年度の創業者は2名であり、計画を上回る結果となりました。背景には、岩手県が創業支援のため、補助事業を実施したこと、創業支援事業計画に基づき市、商工会議所、金融機関等が連携して創業希望者への伴走支援を行ったことが要因と考えられます。

・意欲ある事業者への支援

昨年度、168回のフォローアップ訪問によって経営課題の掘り起しや設備投資に係る国・県補助制度への申請支援を行いました。

この結果、国が実施する「津波・原子力災害被災地域企業立地補助金」の採択件数が2件、「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」の採択件数が11件となり約5億9千3百万円の設備投資を誘発しました。

③地域資源・企業の魅力発信の強化

販路拡大に係るマッチング支援のため、市では販路拡大支援事業補助制度によって1者の商談会出展を支援しました。このほか、国の補助事業の申請・実施支援によって、ヤマブドウ加工商品を手掛ける企業と首都圏バイヤー8件とのマッチングを支援するなど、意欲ある事業者に対して、市が実施する支援制度のほか、国・県等が実施する支援制度の提案等により、積極的な支援を行いました。

【指標の状況（詳細）】

指標（単位）	基準値	区分	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	(H26)							
久慈管内新規高卒者の管内就職率（％）	34.2	目標	35.0	35.0	36.0	37.0	38.0	39.2
		実績	42.0	43.9	—	—	—	—
		達成率	125.4%	—	—	—	—	—
起業件数（件）	0	目標	1	1	1	1	1	
		実績	0	2	—	—	—	
		達成率	200.0%	—	—	—	—	
販路拡大支援事業利用件数（件）	2	目標	2	2	2	2		
		実績	1	1	—	—		
		達成率	50.0%	—	—	—		

